

植物を利用した汚染土壌浄化




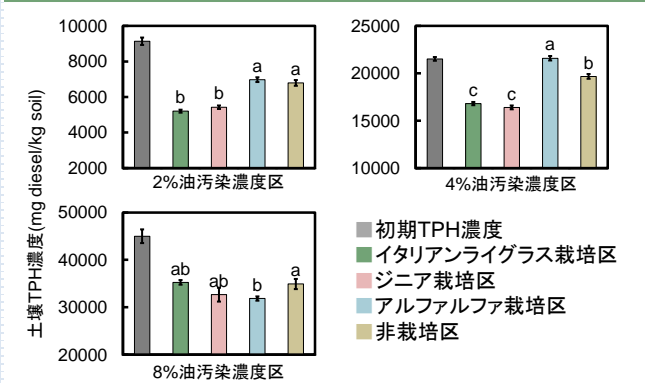
玉置 雅彦
Masahiko Tamaki

農学部（黒川農場）

School of Agriculture Department (Kurokawa Field Science Center)

アグリサイエンス&フィールド先端農学研究室

<https://www.facebook.com/agri.field.science>

研究目的	ジニア植物を用いた油汚染土壌浄化効果の向上
研究内容	鉱物油汚染土壌に対するファイトレメディエーションの実用化を目的として、汚染浄化効果の高い植物、特に花卉植物、の選択を行ない、ジニア (<i>Zinnia hybrida</i>) で効果が高いことを見出した。現在は、さらなる浄化効果向上を目指した研究を行っている。
用途	環境浄化 ・研究シーズの製品化、実用化が可能な連携企業を探しています。
関連画像	 <p style="text-align: center;"><i>Zinnia hybrida</i></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; margin: 0;">播種後135日目の土壌TPH濃度</p>  <p style="font-size: small; margin: 0;">異なる英小文字は処理区間のFisherのLSD検定で5%水準で有意差あり(n=8)</p> </div>
キーワード	ジニア、油汚染土壌、浄化、ファイトレメディエーション
関係論文	Screening of plants for phytoremediation of oil-contaminated soil. International Journal of Phytoremediation. 18(5): 460-466. 2016.



●お問合せ先●

明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室

TEL: 044-934-7639 E-mail: tlo-ikuta@mics.meiji.ac.jp 2016年5月改訂